

平成24年  
7月号

桂台地域ケアプラザが

# 地域交流プログラム

発行日／平成24年7月1日  
編集・発行／横浜市桂台地域ケアプラザ  
発行責任者／石塚 淳

お問い合わせ先

地域交流部門 897-1111

HPアドレス

<http://www.katsuradai.com>

桂台 支えあい連絡会

検索

ここ桂台ケアプラザには、お昼休みになると事務室にお向かいの桂台中学校から子どもたちの声が響いてきます。先日中島みゆきの「地上の星」を朗々と歌い上げる声が聞こえ、事務所中が和やかになりました。

さて、先日の防災関係の打ち合わせの中でのお話ですが、栄区危機管理担当係長の九十九澤さんが「いざという時、地域で中学生の力が役に立つ」とおっしゃいました。そのお話を聞き、昨年度行った桂台中学の防災講座の中で、3.11の時の子どもたちの様子をアンケートに取った事を思い出しました。当日の様子は「先生が頼りになった」「みんなおとなしく先生の指示に従った」と言う声がほとんどでした。しかし、中には「怖くねえよ！と大きな声で言ったり、騒ぎ出したりする人がいた」というものもありました。この子どもたちも不安を隠すために騒いでいるだけで、もう一つの代表的な意見「怖くて、不安で仕方がなかった」と言う声と同じものだと思います。もちろん大人だって災害が怖いわけです。だからこそ、正しい知識を持って冷静に対処する事が重要だということになります。昨年の桂台中学の防災講座のテーマは「災害を正しく怖れる！」。被災地で津波を切り抜けた中学生の例をとらなくても、普段からの教育が大切と言う結論になります。いざという時、頼りになる中学生を育てるのは、やはり地域の大人たちの役割だと再認識しました。

## 7月の おしらせ



### 「元気ひろば」 スペシャル in 桂台地域ケアプラザ

毎月第3水曜日、桂台自治会館で活動している子育てサークル「元気ひろば」。7月は、当ケアプラザでスペシャル企画を開催します!!

子育て奮闘中のママたちが「こんなことしてみたい」「あんなことできたらいいな」の熱い思いを形にしました。ぜひ遊びにいらしてくださいね~!

日時：7月25日(水)  
10:00~12:00

場所：桂台地域ケアプラザ  
2F多目的ホール

募集：未就学児の親子15組  
(定員次第締切)

参加費：1組300円

持ち物：タオル、お子さんの飲み物

申込み：桂台地域ケアプラザへ

TEL：897-1111

## 龍先生のご健康相談

ケアプラザ協力医の龍先生による無料の健康相談を下記に日程に行っています。身近な病気の相談など丁寧に対応して下さい。  
(予約優先)

協力医：龍 覚先生(上郷医院院長)

日時：8月10日(金)

13:30~15:00

場所：桂台地域ケアプラザ 相談室

## 桂台スペシャルデイのお知らせ

桂台地域ケアプラザデイサービスでは、利用者さんへ日頃の感謝を込めて、月に一回「桂台スペシャルデイ」を企画しています。毎月毎月素敵なプログラムを企画していますので、地域の皆様も是非、足をお運び下さい。

ご希望の方は、桂台地域ケアプラザまでご連絡下さい。

日時：8月26日(日) 14:00~15:00

場所：桂台地域ケアプラザデイルーム

内容：桂台デイサービス夏祭り

桂台小学校の子どもたちの元気いっぱいのソーラン節やスイカ割り等の企画をご用意しております!



本郷中央地区協働福祉講座

## 「創作劇で知る家庭内“虐待、DV”」

今ふつうの家庭で何が起きているのでしょうか? 創作劇を通して、家庭内でおこりうる児童・高齢者虐待、DVの背景について考えます

日時：8月26日(日) 13:30~16:00

参加費：無料

場所：本郷地区センター 2F大集会室

申込み：桂台地域ケア  
プラザへ

内容：①創作劇「本郷家の人々」

②グループディスカッション

# ～地域でつながり 次世代を育てる～

当ケアプラザ事業の重要な柱のひとつである「地域連携」。安心して住み続けるために、子どもからお年寄りまでが手を携えていけるようまずは“お互いを知ること”が大切と考えます。

桂台周辺は、高齢・障害の福祉施設をはじめ、保育園から小・中学校までが隣接している自然にも恵まれた地域です。その特性をいかした、さまざまな交流の様子をご紹介します。

## 1 桂台中学校との連携

昨年の3.11東日本大震災後、「防災」への意識が地域全体で高まるなか、自治会町内会と学校とが協力し合うことの大切さが再認識されました。

押し寄せる高齢化の波に、支援を必要とする方々がいらっしゃる状況を知り、助け合う気持ちと中学生が地域の重要な担い手であることへの気づきを4回にわたる「防災講座」をとおして感じてもらいました。



<防災講座>



<オレンジフェスティバル>



<認知症学習会>

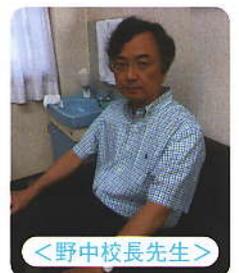
さらにオレンジフェスティバル（文化祭）では、保護者をはじめ多くの方々に学習成果を展示し、防災コーナーの体験をしていただきました。

また、年々増えている認知症の正しい理解に向けて「どうする？どうなる？認知症」の授業を1年生対象に行い、既成の概念にとらわれず見方を変えることの大切さを学び、“人間杖”として支えてほしいと認知症サポーターとしてのオレンジリングが贈られました。

このような協働の取り組みについて、野中校長先生にお話を伺っています。

### Q1 校長先生の 思いや大切に していること

- ・ 少子高齢化の地域特性や生徒の住んでいる環境に配慮し、桂台中学生にとってためになることは何か、を考えて行っている。
- ・ 近隣施設の利用者は地域の方が多く、その関わりはひいては地域へのつながりに広がっていくと思う。
- ・ 人権教育は差別をなくしていくことが主なテーマであり、これまでの生徒たちの人権作文も障害者差別や外国人差別等のテーマに沿ったものが多かった。しかし昨今、上位入選作品に「高齢者問題」を題材にしたものが多くなり、高齢者の抱える課題への関心の高まりが感じられる。



<野中校長先生>

### Q2 重点的、継続的に 力を入れて いきたいこと

- ・ “人と人とのつながり”は継続することで深まる。日々の子どもの活動にどうつながるか、つなげていくかが重要。子どもの視点を大切に、改善を重ねながら取り組んでいきたいと考える。継続事業としては、昨年度の「防災講座」「認知症学習会」があげられる。
- ・ 相手の人格を尊重しながら、自尊感情をどう育てていくかが課題である。
- ・ 新たに「食育」への取組みが期待される。家庭科では“よりよい食生活をめざして日常食をつくろう”という目標があり、身体に優しい食事や食材はどのようなものかを2年生対象に勉強していく。

### Q3 地域に向けての メッセージ

- ・地域の中で子どもたちをどう育てるか、地域での養育力が必要となる。  
“出会いを大切に”を念頭に、出会った人から学ぶことを大事にしたい。

ケアプラザの共催事業として、今年度は8月と10月に「防災講座」、9月には「食育講座」を企画し、地域のつながりを深めながら子どもたちの健全育成のお役に立てたらと考えています。

野中校長先生、貴重なお話をありがとうございました。

## 2 桂台保育園との連携

あどけない顔につぶらな瞳が愛くるしい園児さんが来館すると、思わず笑みのこぼれるデイサービス利用者の皆さん、そして職員の面々。

毎月のお誕生会には、年長の太陽組さんが手作りのプレゼントとカードを持って遊びにきてくれ、歌や踊りを披露してくれたり、ご利用者さんと一緒に手遊びに興じたり、短い時間ながらとても和やかで暖かい交流が行われています。

また、毎年開催している「親子講座」では、子育て中のママたちの不安や心配事に先生方が真剣に向き合い、自信を持って育児ができるよう優しく指導をさせていただきます。

今年度は「はじめての反抗期も大丈夫！親子の絆が大切」と題し、スキンシップや心のふれあいの重要性を楽しい遊びをとおして伝えて頂きます。



## 3 桂台小学校との連携



桂台小学校2年生の生徒さんとは、先生方と1年間のスケジュールを話し合いながら、年3回ほどの交流を行っています。デイサービスを知ってもらうために、毎日行っている体操や音楽プログラムに参加してもらったり、生徒さんが自分たちで考えた出し物を披露してくれたり（ダンスや紙芝居、昔遊びなど素敵な出し物ばかりです）、最後には皆でゲームをしたり手遊びをしたりと、盛りだくさんの内容となっています。

1年を通して行う交流事業なので、子どもたちの成長を身近に感じながら楽しむ事ができます。

お隣同士の環境であっても、このような機会がなければ残念ながら接点がすくないのが現状です。核家族が多い中、家庭内においても子どもとお年寄りが触れ合う機会が少なくなっています。

これからも、交流・連携事業を通して、桂台地域ケアプラザを知ってもらうとともに、子どもたちとお年寄りとのふれ合いを大切に地域のみなさんが“優しい心”を育てていけるようにと思っています。



## 熱中症を予防しましょう

梅雨に入り、蒸し暑くなってきました。これからさらに暑くなっていきますが、昨年に引き続き、今年も節電が呼びかけられています。もちろん節電も大切ですが、夏場に怖いのが熱中症です。マスクでも取り上げられていますが、熱中症の注意点についてご紹介させていただきます。熱中症とは、真夏の気温や湿度の高いところで激しい運動や仕事をしたり、長時間日光を浴びることで、「めまい」、「吐き気」、「頭痛」さらには「意識障害」といった症状を起こすものです。その熱中症を予防するポイントを6つご紹介します。

- 1 外出の時は帽子、日傘を使用し、風が通る涼しい衣服を着る
- 2 日陰を選んで歩く
- 3 水分・塩分をこまめに補給する
- 4 通気の悪い高温、多湿の場所での作業は避ける
- 5 湿度の高い時は汗をかいても体温が下がりにくいので注意する
- 6 扇風機や、エアコン（設定温度は28度）を使うこと



以上の点に心がけて節電にも協力しながら、上手に夏を乗り切っていきましょう。

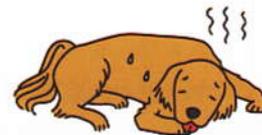
今月は、上郷医院院長の龍覚医師による「熱中症にならないためのポイント」の健康講座を予定しています。詳しくは下記をご覧ください。

講座名：健康講座「熱中症にならないために」

日時：平成24年7月27日 13:30~15:00

場所：桂台地域ケアプラザ 2階ボランティアコーナー

費用：無料



## おもちゃ文庫「ぼこ」をご存知ですか？

自然のぬくもりが伝わる木のおもちゃ……色とりどりのフェルトでできたおままごと……そっと手に取ると、思わず創造の世界に引き込まれる布絵本……そんなおとぎ話のような空間が、そう、おもちゃ文庫なんです！

かわいい愛称「ぼこ」として地域の子どもたちに愛されて早10年余……

地域のボランティアさんの愛情こもった手作りの数々

幼児だった子どもたちも、もう中学生

それぞれの成長の歴史を黙って見続けたおもちゃたち

取り合い、ケンカして、そしてゆずりあい、仲直り……

かけがえのない時間の共有が、大切な“こころ”を育てています

あたたかく見守り、支援を行っているスタッフの皆さんは

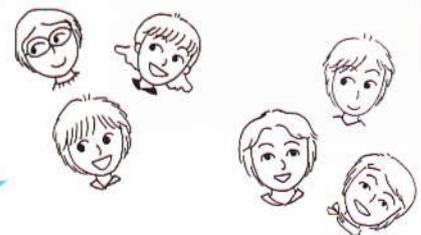
“子どもたちの無垢な笑顔が生き甲斐”

“一生けん命に遊ぶ子どもの姿を見るママの微笑みが印象的”と……

ぜひ、一度「ぼこ」を覗きにいらしてください

きっと、お子さんの目がきらりと輝き、ママも自分の子どもの頃にタイムスリップしたような懐かしい気持ちになりますよ～。ママやパパ、ジージやバーバとのご来館をお待ちしております。

明るく優しい  
支援者の皆さん



フリータイム（未就学児ならどなたでも）

月曜～金曜 10:00～13:00

※見守りスタッフが常駐しています

わんぱくタイム（障害児専用）

月曜～金曜 13:30～17:00